

2022年10月8日（土） - 11月27日（日）

「クマのプーさん」展を開催します！



E. H. Shepard, Illustration for *The Pooh Story Book* by A. A. Milne. Courtesy of Penguin Young Readers Group, a division of Penguin Random House, LLC. © 1965 E. P. Dutton & Co., Inc.

E. H. シェパード『絵本 クマのプーさん』原画 1965年

貴重な原画約100点が来日

『クマのプーさん』(*Winnie-the-Pooh*)は、1926年にイギリス人作家のA. A. ミルンが描いた子ども向けのお話です。少年クリストファー・ロビンとクマのぬいぐるみプーと仲間たちが過ごす日常が、E. H. シェパードの挿画を交えて綴られています。展覧会は、シェパードが出版社のE. P. Dutton (ダットン社)のために、1950~60年代に描いた貴重な原画約100点とミルンのことばとで、クマのプーさんの物語世界をじっくりとたどってゆきます。クリストファー・ロビンが大好きなプーや仲間たちと過ごした「夢のような時間」が空間全体に広がります。

展覧会のみどころ

1. 「百町森」で絵とことばが響き合う「夢のような時間」を

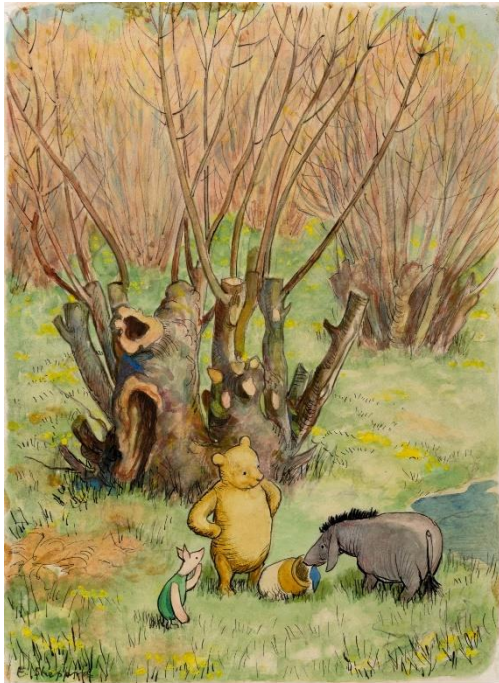
名古屋市美術館の展示室が、物語の舞台である「百町森（100 エーカーの森）」にさがわりします。草木や風、水を想起させる特別な空間のなかで、原画を物語や詩とともに堪能し、クリストファー・ロビンとプーや仲間たちが過ごした「夢のような時間」を体験する場となります。



E. H. Shepard, Illustration for *The World of Pooh* by A. A. Milne. Courtesy of Penguin Young Readers Group, a division of Penguin Random House, LLC. © 1957 E. P. Dutton & Co., Inc.

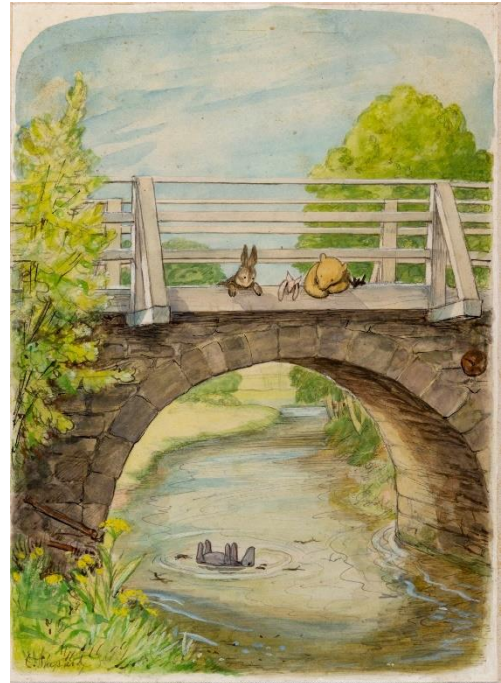
E. H. シェパード『クマのプーさん プー横丁にたった家』原画 1957年

そんな「百町森」に皆さんを誘うのは、「森のなかを行こう」と題した文章です。プーさんの物語の舞台となった、イングランド南部のアッシュダウンの森にも訪れたことのある、作家の梨木香歩さんによる書き下ろしです。原作をオマージュしたりズミカルな言葉たちと、時節によって様々な表情を見せる森の様子を綴っています。「百町森」に迷い込んだら、どこからともなくプーが現れ一緒に歩く、そんな文とともに展示を楽しむことができます。



E. H. Shepard, illustration for *The World of Pooh* by A. A. Milne. Courtesy of Penguin Young Readers Group, a division of Penguin Random House, LLC. © 1957 E. P. Dutton & Co., Inc.

E. H. シェパード『クマのプーさん プー横丁に たった家』原画 1957年



E. H. Shepard, illustration for *The World of Pooh* by A. A. Milne. Courtesy of Penguin Young Readers Group, a division of Penguin Random House, LLC. © 1957 E. P. Dutton & Co., Inc.

E. H. シェパード『クマのプーさん プー横丁に たった家』原画 1957年

「クマのプーさん」シリーズ 4 冊の中で意外と知られていないのが、2 冊の詩集『クリストファー・ロビンのうた』『クマのプーさんとぼく』です。「百町森」では、1950～60 年代に出版された 2 冊をまとめた本と、2 冊からの抜粋集のために描かれた原画をいくつかの詩とともに展示します。詩の一部は、ミュージシャンの坂本美雨さんの朗読を通して味わうことができます。



E. H. Shepard, illustrations for *The Pooh Cook Book* by Virginia Ellison. Courtesy of Penguin Young Readers Group, a division of Penguin Random House, LLC. © 1969 E. P. Dutton & Co., Inc.

E. H. シェパード『The Pooh Cook Book』原画 1969年



E. H. Shepard, illustrations for *The Christopher Robin Book of Verse* by A. A. Milne. Courtesy of Penguin Young Readers Group, a division of Penguin Random House, LLC. © 1967 E. P. Dutton & Co., Inc.

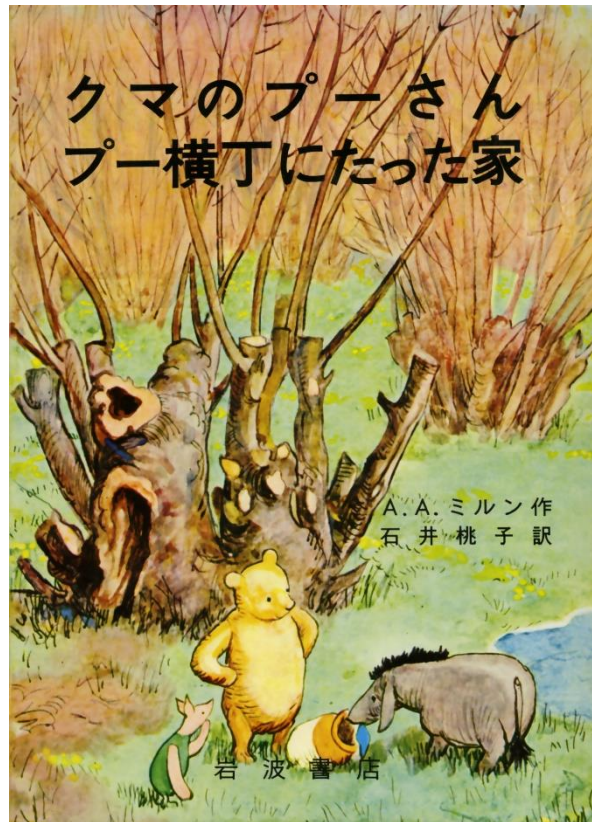
E. H. シェパード『The Christopher Robin Book of Verse』原画 1967年

会場デザイン

展示室は「百町森」の森を歩いている気分で、シェパードが描いた原画を味わえるような空間になっています。東京・檜原村の木材を活用した展示ケースや、桃色、紺色の額縁に、シェパードが描いた小ぶりの原画が宝物のように収められています。木材は、持続可能な森づくりをテーマに活動する東京チェンソーズの協力を得ています。

「クマのプーさん」展は、空間デザインを建築家・デザイナーの齋藤名穂が、グラフィックデザインは展覧会のポスターや図録のデザインを担当する田部井美奈が手がけます。名古屋市美術館ならではの「百町森」をお楽しみください。

2. 「クマのプーさん」と本展に出品される原画について



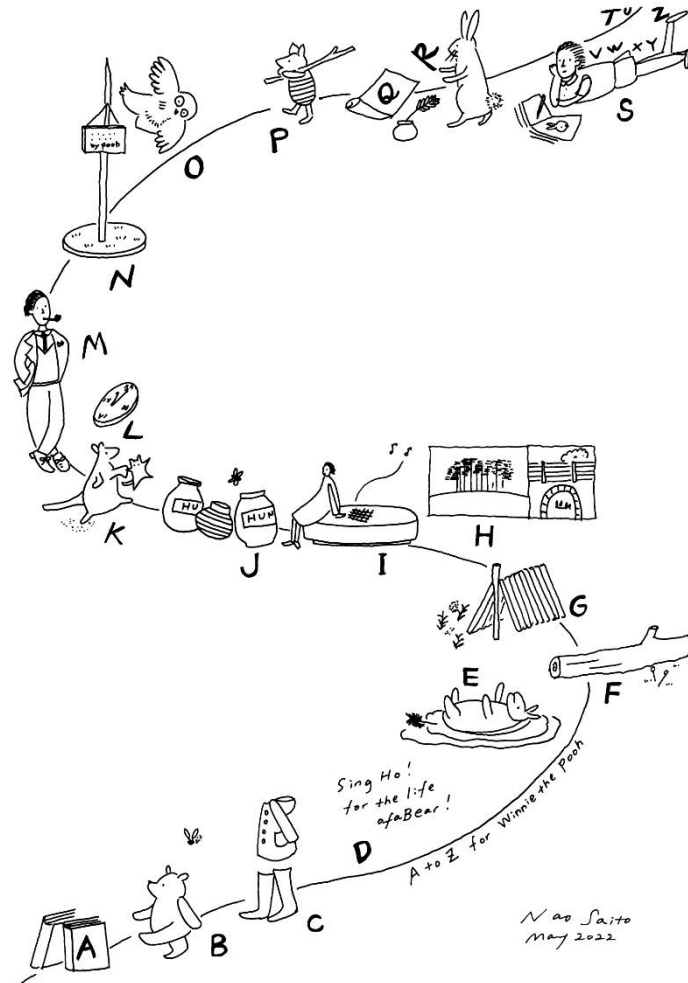
『クマのプーさん プー横丁にたった家』(A. A. ミルン作、石井桃子訳、E. H. シェパード絵、岩波書店)

「クマのプーさん」(Winnie-the-Pooh)は、1924年から1928年にかけてイギリスとアメリカで出版された2冊の詩集と2冊の物語からなるシリーズです。詩集は『クリストファー・ロビンのうた』(*When We Were Very Young*, 1924年)、と『クマのプーさんとぼく』(*Now We Are Six*, 1927年)、物語は最もよく知られる『クマのプーさん』(*Winnie-the-Pooh*, 1926年)と『プー横丁にたった家』(*The House at Pooh Corner*, 1928年)の2冊です。

日本での翻訳出版は1940年の『クマのプーさん』(当初は『熊のプーさん』)が最初で、1942年の『プー横丁にたった家』(当初は『プー横丁にたつた家』)とともに石井桃子訳で岩波書店から刊行されました。その後『クリストファー・ロビンのうた』は1978年、『クマのプーさんとぼく』は1979年に、小田島雄志と小田島若子の訳で晶文社(現在は河出書房新社)から刊行されています。

本展では、1950～60年代、アメリカのダットン社のシリーズ新装版のためにシェパードが描いた原画を約100点展示します。これらのカラー原画は、現在刊行されている岩波書店の『クマのプーさん プー横丁にたった家』『絵本 クマのプーさん』の表紙や口絵に使われている、おなじみのものです。原画はダットン社の親会社であるペンギン・ランダムハウスが所蔵しています。

3. 「Pooh A to Z」 ～クマのプーさんはどうして愛されるのか？



「クマのプーさん」展 展示プランのスケッチ、齋藤名穂

知っているようで知らないプーさんのこと、プーさんがどうしてここまで愛されているのかについて、「クマのプーさん」をはじめイギリスの児童文学に造詣の深い本展監修者の安達まみ（聖心女子大学教授）が解き明かします。

物語を生んだシェパードとミルン、プーやイーヨーなどのキャラクター、「てまみ」や「なんにもをする」といったキーワード、日本語版を誕生させた石井桃子や吉野源三郎などについて。1924年に生まれたプーさんが今日も世界中で愛され続ける秘密を、A から Z の 26 項目に絞りました。それぞれの項目は、安達まみの解説に加え、写真やパネル、ミュージシャンの坂本美雨による物語の朗読、スタイリストの伊東朋恵が選んだつぼや古時計、雨傘などのアイテムで彩られた立体的な展示です。

4. 映像インスタレーション「アッシュダウンの森のきろく」



2022 年の「アッシュダウンの森」 Photo: Kanon Okamoto

プーさんの物語の舞台となったイングランド南部のアッシュダウンの森。それは、作者ミルンが幼い頃に父や兄とともに徒歩旅行した場所であり、ミルン一家が週末や休暇を過ごした場所でもあります。

展覧会では、アッシュダウンの森の朝から夜を、空から野原から、草花や木々、川や空、そして風までを体験できる映像インスタレーションを展示します。撮り下ろしの美しい映像が映し出された複数のスクリーンと音が織りなす特別な空間で、プーと仲間たちを思うことができます。撮影、編集、会場構成は岡本香音が担当しました。

プロフィール

A. A. Milne

アラン・アレクサンダー・ミルン (1882-1956)

1882年ロンドン生まれ。ケンブリッジ大学で数学を学んだのち、風刺雑誌『パンチ』でユーモア作家として活躍。第一次世界大戦に従軍後は、劇作家として注目された。1920年、息子クリストファーが誕生。1924年には初の子ども向け詩集『クリストファー・ロビンのうた』を発表し、成功を収めた。『クマのプーさん』(1926)、詩集『クマのプーさんとぼく』(1927)、『プー横丁にたった家』(1928)とつづく4部作は、時代を超えて世界中で読み継がれている。

E. H. Shepard

アーネスト・ハワード・シェパード (1879-1976)

1879年ロンドン生まれ。奨学金を得てロイヤル・アカデミー・スクールで学び、在学中から挿絵画家として仕事をはじめ。1906年からは風刺雑誌『パンチ』に描くようになり、1924年、A. A. ミルンの詩集『クリストファー・ロビンのうた』の挿絵を担当。以降、クマのプーさん4部作の挿絵を手がけた。カラー版や新版など、4部作に関連する依頼はその後も絶えることがなく、90代まで絵筆をとりつづけた。ケネス・グレアムの『たのしい川べ』の美しい挿絵でも知られている。

展覧会概要

- (1) 展覧会名 特別展「クマのプーさん」展
- (2) 会 期 令和4年10月8日(土)～11月27日(日) (44日間)
休館日：毎週月曜日(ただし、10月10日は開館)、10月11日(火)
開館時間：午前9時30分～午後5時、金曜日は午後8時まで
※いずれも入場は閉館30分前まで
- (3) 会 場 名古屋市美術館 (名古屋市中区栄2-17-25 芸術と科学の杜・白川公園内)
TEL : 052-212-0001 FAX : 052-212-0005
- (4) 主 催 名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、中日新聞社、テレビ愛知、東海ラジオ放送
- (5) 後 援 JR東海、名古屋市小中学校PTA協議会
- (6) 協 力 名古屋市交通局、近畿日本鉄道
- (7) 企画協力 エリック・カール絵本美術館、PLAY! MUSEUM
- (8) 入 場 料 一般1,500(1,300)円、高大生900(700)円、中学生以下無料
※ () 内は前売及び20人以上の団体料金
○早期割引チケットを数量・期間限定で販売
一般2枚組2,000円 販売期間：8月8日午前10時～8月31日午後10時
企画チケットはBoo-Woo チケットサイト(<https://1-tike.com/bw-ticket/>)から
- (9) 関連催事 作品解説会などを予定しています。詳細・申込方法などは準備ができ次第、
展覧会公式サイトにてお知らせします。
- (10) 公式サイト <https://pooh-nagoya.jp/>

Winnie-the-Pooh is organized by The Eric Carle Museum of Picture Book Art, Amherst, Massachusetts, United States.

【広報に関するお問い合わせ】

名古屋市美術館 (広報担当：小出)

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25 TEL : 052-212-0001 FAX : 052-212-0005

メール : gakugeishusa@art-museum.city.nagoya.jp

「クマのプーさん」展 画像提供について

「クマのプーさん」展をご紹介いただく場合、下記注意事項をご確認の上、別紙「画像提供依頼書」に必要事項を記入の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。

●展覧会をご紹介いただく場合

- ・本展をご紹介いただく場合、記事・番組内容について情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で校正を下記問い合わせ先までメールまたはFAXにてお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。
- ・掲載・放送後は、掲載紙・誌、または同録データもしくはDVD等を1部お送りくださいますようお願いいたします。WEBサイトの場合は、掲載時にURLをお知らせください。

●画像掲載について

- ・画像の使用は本展を紹介する場合に限らせていただきます。展覧会終了後の放送・掲載はお断りします。また本展会期中であっても、再放送や転載をされる場合はご連絡ください。
- ・ご使用の際は、指定のキャプション（画像内の英語キャプションはそのままお使いください）の併記をお願いします。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・以上の点にご留意いただけない場合、所有者などとの間にトラブルが生じることがあります。その場合、主催者側では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- ・画像は原則データでの送付とさせていただきます。必ずメールアドレスをご記載ください。

●読者プレゼントのご提供について

- ・本展について広報用画像1点以上を掲載してご紹介いただく場合に、本展招待券を貴媒体読者プレゼント用にご提供します(5組10名様まで)。希望の場合は、別紙「画像提供依頼書」にてお申し込みください。

●展覧会の取材・撮影について

- ・本展の取材・撮影をご希望の場合は事前にご連絡ください。ご連絡がない場合、お断りすることがあります。

【広報用画像及び読者プレゼント提供に関するお問い合わせ先】

名古屋市美術館（広報担当：小出）

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-17-25 TEL：052-212-0001 FAX：052-212-0005

メール：gakugeishusa@art-museum.city.nagoya.jp

「クマのプーさん」展 広報用画像一覧

画像	キャプション	画像	キャプション
1	(メインビジュアル) ※キャプション不要	8 	『クマのプーさん プー横丁にたった家』(A. A. ミルン作、石井桃子訳、E. H. シェパード絵、岩波書店)
2 	E. H. シェパード 『絵本 クマのプーさん』 原画 1965 年	9 	E. H. シェパード 『絵本 クマのプーさん』 原画 1965 年
3 	E. H. シェパード 『クマのプーさん プー横丁にたった家』 原画 1957 年	10 	「クマのプーさん」展 展示プランのスケッチ、 齋藤名穂
4 	E. H. シェパード 『クマのプーさん プー横丁にたった家』 原画 1957 年	11 	2022 年の「アッシュダウンの森」 Photo: Kanon Okamoto
5 	E. H. シェパード 『クマのプーさん プー横丁にたった家』 原画 1957 年	12 	2022 年の「アッシュダウンの森」 Photo: Kanon Okamoto
6 	E. H. シェパード 『The Pooh Cook Book』 原画 1969 年		
7 	E. H. シェパード 『The Christopher Robin Book of Verse』 原画 1967 年		

展覧会紹介文例

【50 文字程度】

「クマのプーさん」の世界を、貴重な挿絵の原画約 100 点とことば、映像、写真、立体物等によりたどる展覧会

【100 文字程度】

イギリスの作家 A. A. ミルンが 1920 年代に生み出した『クマのプーさん』は、E. H. シェパードの挿絵とともに愛され続けています。本展では、シェパードが 1950～60 年代に描いた原画約 100 点とミルンのことば、そして映像、写真、立体物等によりプーさんの世界をたどります。

【150 文字程度】

『クマのプーさん』は、1920 年代にイギリスの作家 A. A. ミルンが生み出した子ども向けの物語です。E. H. シェパードが描いた挿絵とともに愛され続けています。本展では、シェパードが 1950～60 年代に描いたカラーを含む貴重な原画約 100 点を中心に、ミルンのことば、舞台となった森の映像、そして写真、立体物等によりプーさんの世界をじっくりとたどります。

送付先 メール：gakugeishusa@art-museum.city.nagoya.jp or FAX:052-212-0005

「クマのプーさん」展 画像提供依頼書

■ご希望の作品の画像の□欄にチェックを入れてください。

チェック	No.	作品名
<input type="checkbox"/>	1	メインビジュアル
<input type="checkbox"/>	2	E. H. シェパード 『絵本 クマのプーさん』原画 1965 年
<input type="checkbox"/>	3	E. H. シェパード 『クマのプーさん プー横丁にたった家』原画 1957 年
<input type="checkbox"/>	4	E. H. シェパード 『クマのプーさん プー横丁にたった家』原画 1957 年
<input type="checkbox"/>	5	E. H. シェパード 『クマのプーさん プー横丁にたった家』原画 1957 年
<input type="checkbox"/>	6	E. H. シェパード 『The Pooh Cook Book』原画 1969 年
<input type="checkbox"/>	7	E. H. シェパード 『The Christopher Robin Book of Verse』原画 1967 年
<input type="checkbox"/>	8	『クマのプーさん プー横丁にたった家』(A. A. ミルン作、石井桃子訳、E. H. シェパード絵、岩波書店)
<input type="checkbox"/>	9	E. H. シェパード 『絵本 クマのプーさん』原画 1965 年
<input type="checkbox"/>	10	「クマのプーさん」展 展示プランのスケッチ、齋藤名穂
<input type="checkbox"/>	11	2022 年の「アッシュダウンの森」 Photo: Kanon Okamoto
<input type="checkbox"/>	12	2022 年の「アッシュダウンの森」 Photo: Kanon Okamoto

■貴媒体情報（画像はメールでのご提供となります。メールアドレスを必ず記入ください）

貴媒体名・番組名	掲載面・内容	発行部数	発行/放送日
貴社名			
ご担当者名		部署名	
TEL		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 _____		

■読者プレゼント

<input type="checkbox"/> 希望する（ 組 名分） ※最大5組10名分まで、本展を広報用画像1点以上掲載でご紹介いただける場合に限ります。また、募集受付・当選者選定・発送は貴社でお願いいたします。	<input type="checkbox"/> 希望しない
--	--------------------------------